# 県東

千葉日報WEB
http://www.chibanippo.co.jp
メールアドレス
c-nippo@chibanippo.co.jp

催しや講演などの情報などございましたら、お近くの支局や本社編集局にお知らせください。

| 佐倉 | 東金 | 銚子・海匝 | 香取 | 成田 |
|---|---|---|---|---|
| TEL 043(486)5945 | TEL 0475(55)6477 | TEL 0479(24)8667 | TEL 0478(54)2669 | TEL 0476(32)5800 |
| FAX 043(486)5945 | FAX 0475(55)6477 | FAX 0479(24)8667 | FAX 0478(54)2669 | FAX 0476(33)1710 |

## 十五夜の八鶴湖に灯

### 東金　住民ら竹とうろう作り

「十五夜」の10月3日に東金市のシンボル・八鶴湖をろうそくの明かりで彩ろうと、同湖畔にある老舗料亭・八鶴亭で20日、竹とうろう作りが行われた。

サクラの名所として知られる八鶴湖の新たなイベントとして「月見」を定着させようと、東金市観光協会（前嶋康夫会長）の主催で2007年から実施している「名月観賞会」に連動したイベントとして、八鶴亭のスタッフが中心となって企画。地域住民らと「キャンドルナイト実行委員会」を立ち上げ、準備を進めてきた。

竹とうろう作りには、住民ら約50人が参加。材料の竹は、八鶴亭の修復工事を行っている古民家プロデュース業の石塚幹也さん（53）が地元の印旛村から切り出した約500本を提供した。

作業場では、電動のこぎりで30センチ前後に切り分けた竹を、ボランティアの参加者たちが形を整え、約2500個の竹とうろうが出来上がった。当日は、ペットボトルを利用したとうろうと合わせ計3千個を湖畔の周囲約800メートルに並べ、手作りの灯（ともしび）でライトアップする予定。

八鶴亭取締役の萩本直美さんは「八鶴湖の新たなイベントとして定着させていきたい」と意欲を見せている。

とうろうのろうそくには、家庭廃油でつくるエコキャンドルを使用することにしており、9月26日にキャンドルづくりのイベントも行われる。時間は午後2～4時で参加無料。

問い合わせは八鶴亭☎0475(54)7830。

十五夜の八鶴湖をろうそくの明かりで彩ろうと、地域住民ら約50人が竹とうろうづくりに汗を流した＝東金市東金の八鶴亭

## 市民の力で防げ

### 「振り込め詐欺守り隊」発足

銚子

民間の力を借りて振り込め詐欺の被害を未然に防ごうと、銚子署と銚子市内の団体や企業で組織する「振り込め詐欺から守り隊」が発足した。銚子署管内金融機関防犯協会の植田久夫会長らに同署の小池正弘署長から委嘱状が交付された。

振り込め詐欺は県民生活を脅かす重大な犯罪。被害者層も広範囲にわたる。「守り隊」は被害防止対策の一環として、警察署管内ごとに抑止活動に資するネットワークを構築、撲滅に向けた各種活動を実施する。

具体的には①「振り込め詐欺　警戒警報発令中」と印刷した旗を活用した広報活動②地域・職場などにおいて、振り込め詐欺の手口と防犯対策などの講習会実施③振り込め詐欺防止キャンペーンなどへの参加と支援活動の実施―。

メンバーは金融機関防犯協会に加盟する47団体、防犯指導員連絡協議会、ハイヤータクシー運営協議会7社、千葉科学大学生警察支援サークル、スーパーマーケット11店、地元企業7社の計74団体。

各団体に委嘱状を交付した小池署長は「被害は減少しているが、最近はいったん逮捕され刑を終えて出所した者が再び犯行を実施している例もある」と話す。

先月末までの認知件数は県全体が239件で銚子市は4件、被害総額は同じく5億4千万円、670万円となし「振り込め詐欺犯人から銚子市民を守るため、市内に強力なネットワークを張り巡らし、銚子市では詐欺はできないと犯人をあきらめさせる環境を築きたい」とあいさつした。

銚子署で開かれた「振り込め詐欺から守り隊」の発足式

## ジョニーら熱心に指導

### 佐倉で少年野球教室

元千葉ロッテマリーンズのエースで「ジョニー」の愛称で知られる黒木智宏さん(35)ら元プロ野球選手2人による少年野球教室が21日、佐倉市立青菅小学校グラウンドで開かれた。

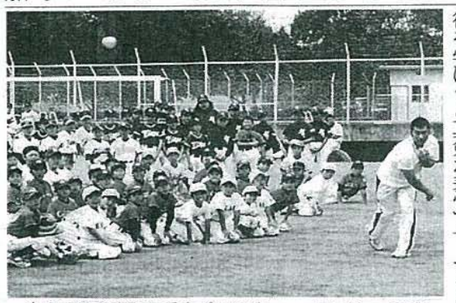
教室は、子どもたちの自主性や相手を思いやる心をはぐくむことを目的に、黒木さんが展開するプロジェクトの一環で開催された。

この日は、市少年野球連盟に加盟する18チーム約200人が参加。黒木さんと元千葉ロッテの4番打者で格闘家・立川隆史さん(34)が約2時間半にわたって熱心に指導に当たった。

キャッチボールの基本練習では、黒木さんが「基本は相手への思いやりと優しさを持って投げること。大事なのは心で、それが持てなければ野球も人としても上達しない」と強調。手打ち野球では、子どもたちにルールを決めさせるなど自主性を尊重しながら、黒木さんと立川さんも子どもたちとプレーを楽しんだ。

教室の最後には「どうすれば球を速く投げられるか」などの質問も出され、黒木さんは丁寧に説明。子どもたちはもちろん、参加チームの指導者もプロの技術を学ぼうと真剣な表情で耳を傾けていた。

プロ野球選手になることが夢という西志津クラブの須田哲平君(12)は「キャッチボールの基本が分かり勉強になった。手打ち野球も楽しかったです」と笑顔を見せた。



少年野球の選手たちにキャッチボールの基本を教える元千葉ロッテの黒木さん＝佐倉市立青菅小グラウンド

## 人間なら「108歳」

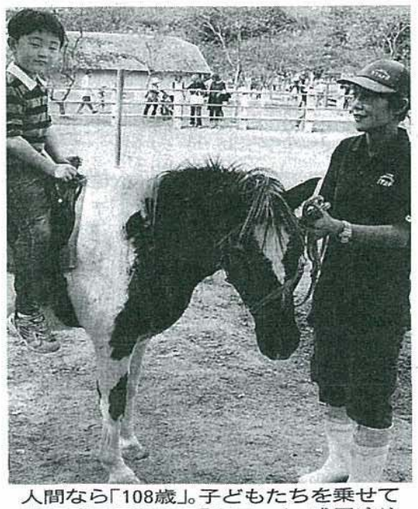
### 最長老馬と触れ合い　成田ゆめ牧場

「敬老の日」の21日、成田市名木の観光牧場「成田ゆめ牧場」では、子どもたちに親しまれる最長老の馬をねぎらおうと、冬用馬着の生地を募集したり、観光客が触れ合って世話をする感謝イベントが行われた。

最長老の馬は、アイスランドホースの「タロー」（雄、27歳）。同牧場によると、人間の年齢に当てはめた場合、108歳前後になる大ベテランで、16年前にやってきた。おっとりした性格のタローは、乗馬体験の担当として、今でも時々、子どもたちを乗せて元気に活躍している。

この日、タローに乗った東京都世田谷区の滝瀬裕統君(7)は「お馬さんが優しくしてくれた。ぼくもお父さんも、おじいちゃんもうま年。お礼に餌をあげたい」とにっこり。観光客はタローの毛を整えたり、なでたりしていたわった。

長年にわたり、牧場や子どもたちに尽くしてきたタロー。同牧場は、寒い季節を迎える前に手作りの防寒具をプレゼントすることにしており、縫い合わせて生地にする厚手のハンドタオルを募集している。受け付けは午後1時から同2時に「フレンズ―広場」の前。あす23日まで行っている。



人間なら「108歳」。子どもたちを乗せて頑張る最長老の馬「タロー」＝成田ゆめ牧場

## 制限エリアATM 10月1日稼働

### 国内初、成田空港

成田国際空港の出国審査後の制限エリアで、10月1日からATM（現金自動預払機）が利用できるようになる。制限エリア内へのATM導入は国内空港で初めて。出国客が搭乗までの待ち時間に必要な日本円を引き出すことが可能となり、乗り継ぎ客も利用できる。

成田国際空港会社（NAA）によると、導入されるATMは3台で、セブン&

## マグロ解体や食材抽一般開放で新行

### 成田公設市場、26日「感謝

成田市公設地方卸売市場（同市飯仲）の一般客向け開放に合わせたイベントが刷新され、26日に「わくわく感謝デー」（成田市場振興協議会主催）が開催される。新鮮食材が豊富な"市民の台所"ならではの特売市や行事を用意。午前9時から同11時まで実施する。

同市場は、毎週土曜日を一般客への開放日としており、このうち第4土曜日には食文化を知ってもらうイベントを開いてきた。リニューアルした「感謝デー」では、午前9時から水産棟競り場の特設会場で、鮮魚や青果の特売市を開催。同9時半からは生マグロの解体実演が行われ、プロの技で豪快に切り出されたサクを市場特価で即売する。

当日千円以上の買い物をすると先着順で参加できる新鮮食材の抽選会は「外れ」なし。同9時からレシートを整理券と交